

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)

【公開番号】特開 2002-86760 (P2002-86760A)

【公開日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)

【出願番号】特願 2000-275965 (P2000-275965)

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 2/18

B 4 1 J 2/185

B 4 1 J 2/01

B 4 1 J 11/02

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

B 4 1 J 11/02

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 7 月 3 日 (2003.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

一方、案内部材 8 の上面には主走査方向に沿って複数の突部 2 1 , 2 2 が配置されている。これらの突部 2 1 , 2 2 は、前記受け穴 1 0 B 2 を挟んでそれぞれ案内部材 8 の長手方向に配列されている。記録用紙の搬送方向における上流側に配列された一方の各突部 2 1 には、図 3 に示されたように記録用紙の搬送方向に沿って上昇する斜面 2 1 a が形成されている。また、他方の各突部 2 2 は、記録用紙の搬送方向に沿って上昇する斜面 2 2 a と、頂面 2 2 b とが形成されている。この構成により、上流側から送られる記録用紙は、各突部 2 2 に形成された頂面 2 2 b 上を走査するようになされ、前記した記録ヘッド 7 との間で所定のペーパーギャップが形成されるようになされている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

したがって、前記廃液量計数手段 3 9 は、クリーニング制御手段 3 3 からの制御信号を受けた場合に、クリーニングモードに基づいて、係数設定手段 4 3 に構築されたテーブルをアクセスし、それぞれのクリーニングモードに対応する廃液量計数値を読み出す。そして、その計数値を廃液量積算カウンタ 4 0 に送り出すように作用する。また、前記廃液量計数手段 3 9 は、印刷制御手段 3 0 から制御信号を受けた場合に、1 パス毎に前記した“ はみ出し印刷時 1 ”または“ はみ出し印刷時 2 ”に対応する計数値を読み出して、これを廃液量積算カウンタ 4 0 に送り出すように作用する。したがって、この場合において廃液量積算カウンタ 4 0 は、案内部材 8 に形成された各インク受け穴 1 0 A , 1 0 B 1 , 1 0 B 2 内に吐出されるインク滴の量と、クリーニング操作によって廃液吸収材 1 4 に吸収される廃液の量とを合算して計数するように作用する。